



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月12日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 管理統括兼財務本部長 兼リスクマネジメント担当 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	42,625	41.0	△3,930	—	△4,013	—	△4,687	—
2021年2月期第3四半期	30,230	△45.7	△7,196	—	△7,420	—	△8,556	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 △4,669百万円(—%) 2021年2月期第3四半期 △8,855百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△237.17	—
2021年2月期第3四半期	△433.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	53,517	11,659	21.5
2021年2月期	53,961	16,922	30.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 11,513百万円 2021年2月期 16,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年2月期	—	15.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	5.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	30.1	△2,520	—	△3,000	—	△4,150	—	△209.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年2月期3Q	19,767,525株	2021年2月期	19,762,025株
2022年2月期3Q	1,723株	2021年2月期	1,583株
2022年2月期3Q	19,763,880株	2021年2月期3Q	19,758,181株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年11月30日）における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が426億25百万円（前年同期比41.0%増）となりました。営業損失は39億30百万円（前年同期営業損失71億96百万円）、経常損失は40億13百万円（前年同期経常損失74億20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は46億87百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失85億56百万円）となりました。

当第3四半期連結会計期間（2021年9月1日～2021年11月30日）における売上高一昨年同期比は13.8%減となりました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受けながらも前第2四半期連結会計期間の一昨年同期比29.1%減と比較して15.3ポイント増となり、段階的に売上の回復が進んでおります。国内事業及び中国事業の売上は一昨年度に近い水準まで回復が進み、店舗休業による影響が大きかったアセアン事業におきましても11月にはすべての子会社が店舗の営業を再開いたしました。一方、新規事業の柱であるオンライン事業はオンラインクレーンゲーム「モーリーオンライン」に加え、インターネットでスクラッチを楽しめる「モーリーオンラインスクラッチ」を新たにスタートいたしました。またカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」の展開が順調に進むなか、当社初の完全キャッシュレス決済によるクレーンゲーム専門店「PRIZE SPOT PALO」を新たにオープンし、事業の更なる拡大に挑戦しております。

当第3四半期連結累計期間は16店舗の新規出店をする一方で35店舗を閉店いたしました。これらの結果、2021年11月末の店舗数は国内432店舗、海外408店舗の合計840店舗（直営店830店舗、FC等10店舗）となりました。

(国内事業)

国内事業は、新型コロナウイルスの1日あたり感染者数が8月下旬をピークとして減少に転じ、政府による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が一斉に解除となった10月以降の売上は、全国的な広い範囲でほぼ一昨年度の水準まで回復しております。部門別ではプライズ部門が引き続き好調で、人気キャラクターの当社限定景品をはじめとした売れ筋景品の集中展開や大手お菓子メーカーとのコラボ景品の展開を強化した結果、第3四半期連結会計期間のプライズ部門は売上高既存店一昨年比104.9%となりました。新規事業のオンラインクレーンゲーム「モーリーオンライン」の売上拡大は順調に進み、第3四半期連結累計期間の売上高前年同期比は54.7%増と大幅なプラスとなりました。11月より新たに「モーリーオンラインスクラッチ」の展開も開始しております。カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」は11月末現在で79か所の展開となり、当社オリジナルのキャッシュレス筐体「かぷえぼ」の全国497台（面数2,677面）への拡大、さらに当社限定商品の投入によって、第3四半期連結累計期間におけるカプセルトイ部門の売上高前年同期比201.7%増に大きく貢献しております。また当社初の完全キャッシュレス決済によるクレーンゲーム専門店「PRIZE SPOT PALO」を新たに2か所オープンいたしました。両店とも好調なスタートを切っており、新たな営業面積拡大の軸として多店舗化を加速してまいります。

当第3四半期連結累計期間はグループ外物件5店舗を含む7店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等6店舗を閉店し、2021年11月末の店舗数はFC2店舗を含め432店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高360億円（前年同期比42.8%増）、営業損失23億8百万円（前年同期営業損失57億33百万円）となりました。

(中国事業)

中国事業は、9月以降も各地域において新型コロナウイルスのクラスター感染が発生しながらも、第3四半期連結会計期間においてほぼ一昨年と同等の売上を確保いたしました。「新学期、大運動会」や「中秋節」「ハロウィン」などをテーマとした販促イベントの実施に加え、ショッピングセンター内でのパレードや有料イベント実施による送客が客数アップに貢献いたしました。中国の大型連休である国慶節（10月1日～10月7日）も売上高既存店一昨年比106.6%と好調に推移いたしました。またEコマースによる取引拡大も積極的に推進し、第3四半期連結会計期間の取扱い高は前年同期比56.7%増と大幅に増加いたしました。下半期最大のEコマース商戦「ダブル11」におけるトークン等の取扱い高は180百万円に達し、過去最高を更新いたしました。またショッピングセンター内一時使用区画の確保にも継続的に取り組み、11月末現在165か所に展開し収益拡大に貢献しております。

当第3四半期連結累計期間はファンペッカ寧波阪急店をはじめ5店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等15店舗を閉店し、2021年11月末の店舗数はFC5店舗を含め195店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高57億46百万円（前年同期比31.2%増）、営業損失9億26百万円（前年同期営業損失2億72百万円）となりました。

※中国事業は、前期第3四半期連結累計期間において店舗の臨時休業に伴う店舗休止損失として6億46百万円を特別損失に計上しております。また為替レートの円換算における前期との差が当期営業損失において94百万円の差損として影響しております。

(アセアン事業)

アセアン事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各国政府の規制により、8月の時点では事業内のほぼ全店舗が臨時休業の状況でありましたが、ワクチン接種率の向上に伴う政府の規制緩和により段階的に営業再開が進みました。マレーシアは10月より首都圏を含む広範囲で規制が緩和され、11月末日時点で93店舗中86店舗が営業を再開いたしました。インドネシアも同様に10月より順次営業再開が進み、11月には29店舗中24店舗が営業となり、売上もほぼ一昨年の水準に達しております。ベトナムにおいても11月下旬より13店舗中11店舗と急速に営業再開が進みました。また2020年3月より全店舗の営業を休止していたフィリピンが11月より順次営業を再開、月末時点で48店舗中29店舗が営業しております。タイにおきましても10月より順次営業再開が進み、11月末日時点で27店舗中11店舗が営業を再開いたしました。

当第3四半期連結累計期間は4店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等14店舗を閉店し、2021年11月末の店舗数はFC3店舗を含め213店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9億41百万円（前年同期比23.7%増）、営業損失6億94百万円（前年同期営業損失11億88百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、114億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億92百万円減少いたしました。主な内訳は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の減少（7億3百万円）、たな卸資産の増加（1億35百万円）であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、420億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加いたしました。主な内訳は、投資の抑制による遊戯機械の減少（7億35百万円）、投資その他の資産その他（繰延税金資産）の増加（6億14百万円）、ソフトウェアの増加（2億26百万円）であります。

この結果、総資産は535億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、353億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億20百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（58億1百万円）、未払費用の増加（5億26百万円）、流動負債その他（未払消費税）の減少（6億42百万円）であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、64億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2百万円減少いたしました。主な内訳は、在外連結子会社における長期借入金の減少（11億42百万円）であります。

この結果、負債合計は418億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億18百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、116億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億62百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（46億87百万円）、剰余金の配当による減少（5億92百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月6日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,718,115	5,520,439
売掛金	210,477	210,674
売上預け金	1,701,815	998,708
たな卸資産	2,367,359	2,503,299
その他	2,021,092	2,193,664
流動資産合計	12,018,859	11,426,785
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,762,977	5,491,635
遊戯機械（純額）	20,486,877	19,751,871
使用権資産（純額）	4,056,606	4,095,214
その他（純額）	2,233,366	2,451,766
有形固定資産合計	32,539,827	31,790,487
無形固定資産		
のれん	173,550	150,370
ソフトウェア	1,009,082	1,235,438
その他	4,440	4,475
無形固定資産合計	1,187,074	1,390,284
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,346,027	4,426,033
その他	3,870,132	4,483,425
投資その他の資産合計	8,216,160	8,909,458
固定資産合計	41,943,061	42,090,230
資産合計	53,961,921	53,517,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,159,820	1,513,582
短期借入金	17,620,876	23,422,380
1年内返済予定の長期借入金	2,237,784	2,037,422
リース債務	1,813,712	1,815,344
未払費用	1,742,336	2,268,804
未払法人税等	575,423	180,737
賞与引当金	295,265	481,147
役員業績報酬引当金	12,090	8,190
閉店損失引当金	36,973	35,128
設備関係支払手形	1,151,567	1,428,822
その他	2,796,428	2,170,868
流動負債合計	29,442,278	35,362,429
固定負債		
長期借入金	3,477,260	2,334,819
リース債務	2,779,745	2,712,588
退職給付に係る負債	247,982	234,442
資産除去債務	920,846	922,750
その他	171,098	290,241
固定負債合計	7,596,935	6,494,842
負債合計	37,039,213	41,857,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,798,427	1,804,529
資本剰余金	4,817,070	4,823,172
利益剰余金	10,577,713	5,297,370
自己株式	△3,370	△3,666
株主資本合計	17,189,839	11,921,406
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△403,671	△332,340
退職給付に係る調整累計額	△91,267	△75,631
その他の包括利益累計額合計	△494,938	△407,972
新株予約権	48,551	36,352
非支配株主持分	179,254	109,957
純資産合計	16,922,707	11,659,744
負債純資産合計	53,961,921	53,517,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	30,230,868	42,625,447
売上原価	33,885,663	42,744,241
売上総損失(△)	△3,654,795	△118,793
販売費及び一般管理費	3,541,823	3,811,621
営業損失(△)	△7,196,619	△3,930,415
営業外収益		
受取利息	61,117	54,820
為替差益	23,003	289,132
受取保険金	17,323	16,275
固定資産売却益	393	438
預り金受入益	18,877	17,498
リース解約益	243,297	45,429
その他	63,764	37,626
営業外収益合計	427,776	461,220
営業外費用		
支払利息	599,738	496,743
固定資産売却損	34,014	19,225
その他	17,505	27,906
営業外費用合計	651,258	543,874
経常損失(△)	△7,420,101	△4,013,068
特別利益		
店舗家賃免除益	956,042	—
雇用調整助成金	510,314	185,984
協力金収入	—	343,652
特別利益合計	1,466,356	529,637
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	27,830	29,113
減損損失	351,248	176,774
店舗閉鎖損失	83,896	33,838
店舗休止損失	4,277,371	1,493,756
感染症対策費	121,658	—
特別損失合計	4,862,005	1,733,482
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,815,750	△5,216,914
法人税、住民税及び事業税	166,137	165,981
法人税等調整額	△2,197,466	△615,101
法人税等合計	△2,031,329	△449,120
四半期純損失(△)	△8,784,420	△4,767,793
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△228,211	△80,344
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,556,209	△4,687,448

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△8,784,420	△4,767,793
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△91,457	82,378
退職給付に係る調整額	20,873	15,635
その他の包括利益合計	△70,584	98,014
四半期包括利益	△8,855,005	△4,669,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,611,272	△4,600,482
非支配株主に係る四半期包括利益	△243,733	△69,297

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)

当社グループは、当四半期連結会計期間末日現在、有形固定資産31,790,487千円を計上しており、資産グループより生じることが予想される将来キャッシュ・フロー及び現在価値の算定をするために割引率を見積り、有形固定資産の減損テストを実施しております。当四半期連結累計期間において、減損損失176,774千円を計上しております。

当社グループは、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りに、各地域の新型コロナウイルス感染症の影響として、行政当局の要請による臨時休業期間の予測及び営業再開後の売上高回復予測などの仮定を含めており、複数のシナリオに基づく感応度分析を実施しています。具体的には、店舗の売上高について各地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、アセアン等の臨時休業中の店舗については、2022年2月期第4四半期中に順次営業を再開し、売上高が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復する仮定については、国内事業及び中国事業は2022年2月期連結会計年度末、アセアン事業は2023年2月期連結会計年度までにそれぞれ回復するとの仮定に基づき、有形固定資産の減損テストにおける将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,090,973	4,379,268	760,626	30,230,868	—	30,230,868
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,503	—	—	115,503	△115,503	—
計	25,206,476	4,379,268	760,626	30,346,371	△115,503	30,230,868
セグメント損失(△)	△5,733,789	△272,782	△1,188,655	△7,195,227	△1,391	△7,196,619

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント21,143千円、「中国」セグメント123,204千円、「アセアン」セグメント206,900千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,938,133	5,746,283	941,030	42,625,447	—	42,625,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,699	—	—	62,699	△62,699	—
計	36,000,833	5,746,283	941,030	42,688,147	△62,699	42,625,447
セグメント損失(△)	△2,308,932	△926,097	△694,512	△3,929,541	△873	△3,930,415

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント3,774千円、「中国」セグメント113,514千円、「アセアン」セグメント59,485千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。